

おにぎり結んで縁を結ぶ

～ランコントル (rencontre) の町・五個荘清水鼻町～

五個荘清水鼻町は、人口153人、40世帯、高齢化率約20.9%の自治会である。町内は4組あり、旧村地域で2組(3～4組)・20世帯、新興住宅地で2組(1～2組)・20世帯という、新旧世帯が半数ずつである。健康スポーツ大会では、女性会のメンバーが中心に握ったかやく御飯のおにぎりを全員で食べて交流を深めている。

1. 健康スポーツ大会の概要

旧五個荘町では、昭和42年(1967)から平成3年(1991)まで「五個荘町民体育祭」が開催されていた。

平成4年(1992)～5年(1993)は「てんびんピック」として、5月に繖公園を中心会場に、ふれあいウォーク(現在の「てんびんの里ふれあいウォーク」の前身)などのスポーツイベントを行うようになった。

運動会は、各区(自治会)で開催されるようになり、五個荘清水鼻町(以下、清水鼻町)では毎年10月10日のスポーツの日の直近の日曜日に、「健康スポーツ大会」として開催するようになった。

競技性よりも、玉入れやボール運びレース、

綱引き、大縄跳び、パン食い競争、ペタンクなどのレクリエーション的な要素を中心とした内容としている。

最後はビンゴゲームで締めくくる。ビンゴゲームは100人以上が参加し、全員に「何か」が当たるといふ。

2. 婦人会から「らんこんとる」そして女性会へ

健康スポーツ大会を支えるのが、清水鼻女性会のメンバーである。

清水鼻女性会は、以前は「らんこんとる清水鼻」と称していた。女性会の前身の名称は「婦人会」であることが多いが、旧五個荘町では婦人会から「らんこんとる五個荘」となった。



炊き込み御飯のおにぎりを結ぶ



女性会のメンバーとお手伝いのメンバーで。会話が弾む。

「らんこんとる」はフランス語の「rencontre」のこと。出会いや巡り会いを意味する言葉だ。

旧五個荘町時代の各自治会も「らんこんとる」を冠した名称としていた。清水鼻町の場合は、「らんこんとる清水鼻」である。

合併により「東近江市女性会」となったため「らんこんとる清水鼻」も「清水鼻女性会」に名称変更した。

3. 女性会の「手」で支える

健康スポーツ大会では、女性会のメンバーが中心となって参加者の昼食をつくる。

昼食メニューは、かやく御飯のおにぎりに豚汁と決まっている。個々の弁当作りも心配なく、みんなが同じものを頬張り心置きなく参加できるからである。

大会前日から女性会のメンバーは大忙しである。

女性会の役員が会員の自宅にお米と炊き込み御飯の具を配る。会員は、それぞれの家庭で炊き込み御飯を炊き、当日の午前8時30分に自治会館に持ち寄る。

そして、女性会とお手伝いのメンバーが共同で、かやく御飯のおにぎりを結ぶなかに会話が弾むのである。

豚汁は、おにぎり隊以外のメンバーが自治会館で調理する。この間、男性陣はグラウンドにラインを引き、テントをたて、万国旗を飾る。

こうして、午前10時に開会し、清水鼻町の



ラジオ体操の様子



大縄跳びの様子

一大交流イベントがスタートするのである。

そして、お昼にはテントを移動させて、参加者全員が入れる場所をつくり、全員でかやく御飯のおにぎりとお肉汁をいただく。賑やかで和やかなランチタイムのひと時が流れる。

清水鼻町は、以前は日枝神社広場で納涼カラオケ大会も開催していた。テントを立て、ビールケースで舞台を作り、賑やかな夏の夜を過ごしていた時期もある。

今は健康スポーツ大会が、年1回の清水鼻町の住民同士の出会いの場、交流の場となっている。

それゆえに、みんなで同じものを一緒に食べる場と時間というのは尊いのである。

女性会のメンバーも以前は20名ほどであったが、今は10名足らずになった。

しかし、この尊い場と時間を持ち続けようと「ランコントル (rencontre)」の場を大切にしようとして、女性会以外の住民も手伝って、全員のおにぎりを結ぶ。

清水鼻町の財（たから）の営みである。



お昼ごはんの様子。参加者が一緒におにぎりとお肉汁を食べる。